

秋田市自然環境保全・体験支援事業交付金の交付対象事業評価基準

審査項目	審査内容	配点				
		大変 良い	良い	普通	やや 悪い	悪い
①有効性	【自然環境保全分野】 野生生物の生息環境の保全につながる	30	24	18	12	6
	【自然環境体験分野】 体験を通して自然の恵みの大切さを実感し、自然環境保全の意識の醸成につながる					
②普及・啓発	広く、本市の自然環境の豊かさや生物多様性についての普及・啓発につながる	20	16	12	8	4
③新規性・先駆性	これまでにない新たな内容や、先行事例となるような先駆性のある内容となっている					
	【自然環境保全分野】	10	8	6	4	2
	【自然環境体験分野】	20	16	12	8	4
④継続性	本市環境施策と関わりが強く、財政的支援により、継続的で自主的な環境活動が今後も見込まれる					
	【自然環境保全分野】	20	16	12	8	4
	【自然環境体験分野】	10	8	6	4	2
⑤費用の妥当性	対象経費に妥当性がある	10	8	6	4	2
⑥実施体制	活動を確実に安全に実施できる体制が十分である	10	8	6	4	2